

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 2013年度通常総会 報告

日時：2013年5月19日 14時から15時00分まで

会場：東京都国分寺労政会館 地下1階 第1会議室

司会：堀 渡

1 理事長挨拶

挨拶に替え、2つの報告をする。

一つ目は残念な報告。市役所に勤めている事務局員の一人が、役所のデータを外部データサーバーにおとしながら仕事をしていたのが発覚し、市役所から停職一ヶ月の処分を受けた。多摩デポのデータの一部もその外部データサーバーに保存されていたことが、本人への事情聴取でわかり、それを受けて理事会で「理事長嚴重注意」とした。その後、本人からは退会の申し出があり、受理した。この場で、お詫びする。

二つ目は嬉しい報告。2月の多摩デポ講座で、映画『40万冊の図書』についてお話いただいた金高監督が改訂版の作成を進め、7月26日の“あきる野映画祭”での改訂版上映が決定した。8月15日には日比図書文化館で上映され、11月からは全国上映の準備が進んでいるとのこと。監督から「アイデアがあれば助力を」との申し入れがあった。講座が図書館以外のところへの広がりや新たなつながりをもたらしたことを喜ぶたい。

2 議長選出

事務局に一任。

座間直壯氏を選出。

3 書記及び議事録書名人の選出

議長の指名による。

書記：雨谷逸枝氏(事務局)

議事録署名人：山崎明子氏、江森隆子氏

4 総会成立(定足数)の確認

正会員総数：103(個人100名、団体3団体)

定足数(正会員総数×1÷2)：52

出席者29、委任状出席41、合計70で定足数を満たしており、総会は成立。

5 議事

(1) 第一号議案 2012年度事業報告承認について

説明(齊藤誠一事務局長)

※議案書(事前に郵送配布)に沿って説明

- ・共同保存図書館の準備作業として行っている多摩地域最後の2冊検索事業は、数自治体に声をかけたが、実施にまで至らなかった。

- ・図書館資料の里親探しは、ほとんど多摩地域内で活用することができた。多摩デポの認知度も高くなっている。しかし、欠本があっても補充しないという館もできており、書庫状況の逼迫をひしひしと感じる。一方、東日本大震災被災地（津波被害地域等）の図書館では、まだこういった全集等を受け取れるような状況には至っていない。
- ・多摩デポブックレットは、7号（『多摩を歩いて三七年半』山田優子著）を発行。8号、9号の発行に向け作業中。デポ講座は、八王子市中央図書館の見学会を含め3回実施した。
- ・除籍と資料保存に関する研究会は館長協議会と調整を進めたが、年度内の実施はできなかった。
- ・V-depo-L TAMA 構想は、データベースの専門家に助言を求め、可能性を模索した。
- ・ホームページリニューアルのため、ソフトを購入して取り組んだ。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

（2）第二号議案 2012年度決算報告及び監査報告承認について

説明（田中ヒロ事務局員）

※議案書に沿って説明

- ・東京都の指導により、会計の方法を変更したため、比較できるよう昨年度までの様式の「決算報告書」と新しい様式の「活動計算書」を提示した。新会計方法では、多摩デポブックレットは、頒布した冊数にのみ経費が認められ、「在庫は財産」と見なされる。事務所再契約時の敷金も資産として計上している。ブックレットで若干の収益があったため、法人税がかかることになり、法人住民税も従来の均等割に法人税割が加わる。2団体から多額の寄付があった。

監査報告（浴靖子監事）

※配布資料「監査報告書」

適法適正に執行された旨、報告があった。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

（3）第三号議案 2013年度事業計画決定について

説明（齊藤誠一事務局長）

※議案書に沿って説明

- ・“自治体の図書館で最後の1冊となった資料が、多摩地域で最後の2冊に該当するか”を検索する作業については、今年度も各市への働きかけを行っていく。
- ・図書館資料の里親探しについては、各図書館の担当者とのコミュニケーションを図りPRを進める。
- ・資料保存に大きく影響する国立国会図書館の事業を注視しながら多摩デポの活動を進めていきたい。その意味もあり、今回は国会図書館の南氏に総会記念講演をお願いした。
- ・除籍と資料保存に関する研修会は、多摩地域の館長協議会と調整してやっていきたい。
- ・毎年参加してきた図書館総合展ポスターセッションについては、これまで参加費無料だったが、今年から参加費が必要となる。費用対効果について理事会で検討する。
- ・東京都立多摩図書館の国分寺市への移転にあたり、都立図書館で共同保存機能を持つ

ことを引き続き提言していきたい。

- ・2008年に館長協議会が作成した『多摩地域における共同利用図書館検討調査報告書』については、風化させることのないよう調査・研究・普及活動を行っていきたい。
- ・多摩デポ通信は、これまでどおり年4回発行する。
- ・編集作業中の多摩デポブックレット第8号・9号を発行する。
- ・リニューアルしたホームページの充実に努める。アドレスは変えていないので、是非ご覧いただき、意見を寄せていただきたい。
- ・東日本大震災の被災図書館のバックアップについては、長期的視点に立った多摩デポらしい活動を継続していく。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

(4) 第四号議案 2013年度活動予算決定について

説明（田中ヒロ事務局員）

- ・議案書に沿って説明

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

(5) 第五号議案 任期満了に伴う役員の改選について

説明（齊藤誠一事務局長）

- ・任期2年間の現在の役員の任期は5月30日まで。新役員の任期は5月31日からとなる。今回、吉田徹理事が退任する。新たに堀渡氏を理事に選任したい。清田義昭氏、座間直壯氏、田中ヒロ氏、手嶋孝典氏、平山恵三氏、矢崎省三氏、齊藤誠一の7名の理事と、浴靖子氏、国分一也氏の2名の監事は再任提案をする。

質疑

なし

採決

拍手多数（承認）

吉田理事から退任挨拶、堀氏から就任挨拶

6 議長及び書記の解任

以上

理事長・副理事長等の選任、顧問の委嘱、事務局員の指名について (2013年度第2回理事会報告)

年度総会後の5月31日(金)、総会で選出された新理事8名が出席して、2013年度第2回理事会が開かれました。「多摩デポ」の定款では、第14条で「理事及び監事は総会において選任する」、また「理事長及び副理事長は理事の互選とする」とあります。総会では8名の方が新理事に選ばれましたが、2年間の任期は5月31日から始まりますので、その日に、新理事による最初の理事会を開催しました。(なお事業年度が4月1日からなので、この日は2013年度第2回理事会と数えます)

最初の議案として、理事長・副理事長の互選が行なわれ、理事長には座間直壯、副理事長には平山恵三が選ばれました。ともに再任となります。また、顧問として、津野海太郎氏、黒子恒夫氏の更新の提案が可決されました。

また事務局スタッフとしては、新たに事務局次長の職を設けることが決まり、その上で、事務局長に齊藤誠一(再任)、事務局次長に堀渡が指名されました。事務局員としては、雨谷逸枝、江森隆子、鬼倉正敏、田中ヒロ、手嶋孝典、中川恭一、蓑田明子、矢崎省三、吉田光美が決定されました。